



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

大

上場会社名 旭松食品株式会社

上場取引所

コード番号 2911

URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) (06) 6306-4121

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,762	△1.1	△34	—	△55	—	△98	—
24年3月期第2四半期	4,817	△34.0	△73	—	△59	—	772	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △113百万円 (— %) 24年3月期第2四半期 774百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△10.71	—
24年3月期第2四半期	84.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,620	7,910	74.2
24年3月期	11,413	8,115	70.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,880百万円 24年3月期 8,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	10.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	△1.5	70	75.0	50	△13.8	△16	—	△1.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期2Q	9,382,943株	24年3月期	9,382,943株
25年3月期2Q	223,613株	24年3月期	223,613株
25年3月期2Q	9,159,330株	24年3月期2Q	9,160,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、欧州や中国等の対外経済環境を巡る不確実性は高く、電力供給の制約、デフレの影響など、景気は依然先行きに不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは納豆事業撤退から丸一年が経過し、凍豆腐、加工食品などのコア事業へ経営資源を集中投資してまいりました。当第2四半期連結累計期間については、販売価格の下落が継続する中、重油やLPガス等の燃料の高騰や、主要原料の大豆価格の高止まりを受け厳しい経営環境が継続しております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は47億6千2百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、新たな付加価値をつけた「ダイエットこうや」のアイテムアップを行い、また、ベストセラーになった書籍にも紹介され追い風を受けたものの前年同四半期をクリア出来ず、売上高は19億1千9百万円（前年同四半期比2.4%減）と減少いたしました。加工食品においては、既存の袋入りが販売競争の激化などにより売上を落とすこととなりましたが、新規のカテゴリー製品として前連結会計年度末に発売した「浅漬けの素」が純増いたしました結果、売上高は20億8千4百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

利益面では、大豆等の原材料の市場価格は当第2四半期連結累計期間には過去最高値を更新し、固定費については売上高減少分を圧縮出来ず、営業損失3千4百万円（前年同四半期は7千3百万円の損失）、経常損失5千5百万円（前年同四半期は5千9百万円の損失）となりました。また、前第2四半期連結累計期間には納豆事業の営業権及び商標権の売却益を特別利益として計上しましたが、当第2四半期連結累計期間中は遊休資産の減損損失を計上したこともあり四半期純損失は9千8百万円（前年同四半期は7億7千2百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ7億9千3百万円減少し、106億2千万円（前連結会計年度比6.9%減）となりました。総資産の減少の主な要因は、たな卸資産が2億5千3百万円増加したものの現金及び預金が5億9千3百万円、受取手形及び売掛金が3億8百万円減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ5億8千8百万円減少し、27億9百万円（前連結会計年度比17.8%減）となりました。負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少5千万円、未払金の減少1億7千7百万円、短期借入金の減少2億6千4百万円があったことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度に比べ2億4百万円減少し、79億1千万円（前連結会計年度比2.5%減）となりました。これは当第2四半期純損失9千8百万円の計上や剰余金の配当9千1百万円を行ったことなどによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の減少は3千4百万円であります。

資金の減少の主な要因は、売上債権の減少額が3億9百万円があったものの、仕入債務の減少額5千万円、未払金の減少額1億4千万円があったほか、たな卸資産の増加額が2億5千2百万円あったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流入額が6千8百万円減少しております。この主な要因は、仕入債務の増減差額3億4千3百万円、未払金の増減差額1億9千4百万円などによる流入増加となったものの、前連結累計期間には納豆事業の売上債権の回収がありましたが、当連結累計期間には該当する回収は無く、売上債権の増減差額で7億4千1百万円流入減少となったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、9千6百万円であります。

資金の減少の主な要因は、定期預金の払戻と預入の差額により1億円の流入があったものの、有形固定資産の取得による支出が1億6千6百万円、無形固定資産の取得による支出3千万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が5億4千4百万円増加しております。この主な要因は、前第2四半期連結累計期間には営業権商標権の売却による収入14億円と相当額の定期預金の預入れがあったものの、当第2四半期連結累計期間には特別なものは無く、その他として有形固定資産の売却による収入が4億6千3百万円減少し、有形固定資産の取得による支出が1億8百万円増加したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、3億6千3百万円であります。

資金の減少の主な要因は、長期借入金の約定返済2億5千2百万円、配当金の支払による減少額9千万円があったことなどによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べ資金の流出額が2億6百万円減少しております。この主な要因は、短期及び長期借入金の減少差額で2億4千1百万円の流入となり、配当金の支払額の差額で4千5百万円の流出となったことなどによるものです。

以上により当第2四半期連結会計期間末における資金は前連結会計年度末に比べ4億9千3百万円減少し、6億3百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成24年8月20日に公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,552,641	1,958,851
受取手形及び売掛金	2,437,071	2,128,287
たな卸資産	1,029,560	1,282,813
繰延税金資産	1,269	168
その他	124,762	100,146
貸倒引当金	△1,400	△1,200
流動資産合計	6,143,905	5,469,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,961,191	6,983,551
減価償却累計額	△5,271,980	△5,321,334
建物及び構築物（純額）	1,689,211	1,662,216
機械装置及び運搬具	8,328,128	8,337,177
減価償却累計額	△7,373,894	△7,372,256
機械装置及び運搬具（純額）	954,233	964,921
土地	1,781,439	1,759,030
リース資産	70,520	70,520
減価償却累計額	△40,079	△46,328
リース資産（純額）	30,440	24,192
建設仮勘定	182	6,345
その他	434,638	441,898
減価償却累計額	△346,331	△359,145
その他（純額）	88,307	82,753
有形固定資産合計	4,543,813	4,499,458
無形固定資産	230,529	189,405
投資その他の資産		
投資有価証券	406,321	376,387
その他	89,263	86,298
貸倒引当金	△327	△327
投資その他の資産合計	495,257	462,358
固定資産合計	5,269,600	5,151,221
資産合計	11,413,505	10,620,288

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	986,876	936,681
短期借入金	328,060	63,270
リース債務	13,121	11,786
未払金	776,007	598,685
未払法人税等	17,590	13,020
賞与引当金	41,574	—
設備関係支払手形	59,350	109,394
その他	224,827	176,961
流動負債合計	2,447,408	1,909,800
固定負債		
リース債務	18,840	13,614
繰延税金負債	153,826	143,068
退職給付引当金	617,377	583,394
資産除去債務	51,739	51,927
その他	9,192	8,100
固定負債合計	850,976	800,106
負債合計	3,298,384	2,709,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,879,861	4,690,155
自己株式	△126,557	△126,557
株主資本合計	8,003,571	7,813,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,555	84,006
為替換算調整勘定	△22,042	△16,996
その他の包括利益累計額合計	83,513	67,010
少数株主持分	28,035	29,504
純資産合計	8,115,120	7,910,381
負債純資産合計	11,413,505	10,620,288

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
売上高	4,817,690	4,762,701
売上原価	3,624,476	3,608,186
売上総利益	1,193,213	1,154,514
販売費及び一般管理費	1,266,362	1,188,817
営業損失（△）	△73,148	△34,302
営業外収益		
受取利息	901	1,813
受取配当金	4,186	3,692
受取賃貸料	84,273	1,058
受取保険金	1,537	437
受取技術料	5,502	1,071
為替差益	2,028	—
雑収入	9,420	5,376
営業外収益合計	107,848	13,449
営業外費用		
支払利息	7,730	2,205
賃貸収入原価	86,072	202
為替差損	—	637
休止固定資産維持費用	—	31,459
雑損失	226	148
営業外費用合計	94,029	34,654
経常損失（△）	△59,329	△55,508
特別利益		
固定資産売却益	21,547	1,029
投資有価証券売却益	184	—
営業権及び商標権の売却益	1,400,000	—
資産除去債務履行差額	9,926	—
特別利益合計	1,431,658	1,029
特別損失		
固定資産除却損	9,056	6,857
固定資産売却損	3,062	—
減損損失	—	26,466
関係会社出資金売却損	16,107	—
特別損失合計	28,226	33,323
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,344,102	△87,802
法人税、住民税及び事業税	3,902	8,455
法人税等調整額	569,884	946
法人税等合計	573,786	9,401
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	770,315	△97,203
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△1,765	908
四半期純利益又は四半期純損失（△）	772,080	△98,112

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	770,315	△97,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	727	△21,549
為替換算調整勘定	3,234	5,606
その他の包括利益合計	3,961	△15,942
四半期包括利益	774,277	△113,146
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	775,718	△114,615
少数株主に係る四半期包括利益	△1,441	1,468

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,344,102	△87,802
減価償却費	322,366	269,990
減損損失	—	26,466
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,657	△200
賞与引当金の増減額（△は減少）	△109,027	△41,574
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△4,626	△33,982
受取利息及び受取配当金	△5,087	△5,506
支払利息	7,730	2,205
固定資産売却損益（△は益）	△18,485	△1,029
固定資産除却損	9,056	6,857
投資有価証券売却損益（△は益）	△184	—
関係会社出資金売却損	16,107	—
営業権及び商標権の売却益	△1,400,000	—
売上債権の増減額（△は増加）	1,051,106	309,382
未払金の増減額（△は減少）	△334,564	△140,478
たな卸資産の増減額（△は増加）	△186,158	△252,428
仕入債務の増減額（△は減少）	△393,388	△50,384
未払消費税等の増減額（△は減少）	32,095	△55,692
その他	△3,659	32,112
小計	325,725	△22,065
利息及び配当金の受取額	4,866	5,806
利息の支払額	△7,759	△2,222
法人税等の支払額	△22,780	△16,432
特別退職金の支払額	△266,413	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,637	△34,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,350,000	△1,250,001
定期預金の払戻による収入	—	1,350,000
有形固定資産の取得による支出	△58,080	△166,551
有形固定資産の売却による収入	463,715	278
無形固定資産の取得による支出	△14,548	△30,216
投資有価証券の取得による支出	△2,159	△2,218
投資有価証券の売却による収入	184	—
連結の範囲の変更を伴う関係会社出資金の売却による収入	2,459	—
営業権及び商標権の売却による収入	1,400,000	—
貸付けによる支出	△3,000	△1,200
貸付金の回収による収入	7,131	2,947
その他	2,696	725
投資活動によるキャッシュ・フロー	448,396	△96,235

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△213,099	△13,269
長期借入金の返済による支出	△294,481	△252,460
リース債務の返済による支出	△16,494	△6,560
自己株式の取得による支出	△242	—
配当金の支払額	△44,932	△90,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569,250	△363,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,787	442
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△85,428	△493,790
現金及び現金同等物の期首残高	1,373,964	1,097,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,288,535	603,825

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,806,454	4,806,454	11,236	4,817,690
セグメント間の内部売上高 又は振替高	430	430	—	430
計	4,806,884	4,806,884	11,236	4,818,120
セグメント利益	636,754	636,754	5,715	642,470

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	636,754
「その他」の区分の利益	5,715
セグメント間取引消去	△430
全社費用(注)	△715,188
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△73,148

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

食料品事業セグメントの主要製品のうち、納豆については、平成23年3月末をもって撤退いたしました。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	4,746,022	4,746,022	16,679	4,762,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	367	367	—	367
計	4,746,389	4,746,389	16,679	4,763,068
セグメント利益	592,309	592,309	12,850	605,160

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	592,309
「その他」の区分の利益	12,850
セグメント間取引消去	△367
全社費用（注）	△639,095
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△34,302

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産の帳簿価格を回収可能価格まで減額したことにより、26,466千円の減損損失を計上しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。